

# JIM-NET Annual Report 2023

## 年次報告書



アルビル



バスラ



アルビル



バグダード



バグダード



# JIM-NET発足20年。 イラク現地で「いま」必要とされる 小児がん支援に取り組みます。



2003年のイラク戦争以降、武器や兵器によるイラク市民の犠牲者は20万人ほどに達し、多い年は年間3万人ほどの市民が命を落としました。物理的な破壊と精神的な荒廃に人々は疲弊し、他人を信用できない社会が醸成されていました。しかし2020年以降、治安は大幅に回復し、安定化に向かうイラクでは、復興に向けた新しい社会をつくろうと行動する若者たちの機運も高まっています。観光に訪れる外国人も増え始め、イラクに明るい光が差し込んでいる様子がうかがえます。

その一方で、周辺国の情勢に起因する不安定要素とは常に隣り合わせです。2023年10月から始まったイスラエルによるパレスチナへの攻撃の影響は、JIM-NETが事務所を置くクルド自治区アルビル市内にも及び、米軍施設へのドローン攻撃や隣国からのミサイル攻撃が多発し、空港閉鎖や民間人の死者が出るなど緊張が高まりました。また、物価高騰によりJIM-NETが支援する患者の生活は、ますます厳しさを増しています。特に、国内避難民やシリア難民の患者の子どもたちやその家族は「明日をどう生きるか」という状況の中で、パンや野菜さえ買えない家庭もありました。

こうした貧困患者への支援の需要の高まりに加え、記録的な円安の影響の中、2023年度は「シリアから逃れてきた患者家族を支えたい！」と題したクラウドファンディングを実施し、358名の方々から総額300万円を超えるご寄付をいただきました。経済面、健康面で不安を抱える子どもたちが、安心して治療を受けられる環境を整える役割をこれからも果たしていかなければなりません。物質的な支援だけでなく、心理社会的サポートを強化することもまた、患者の子どもたちの今と未来に必要なことだと考えています。

2023年度のチョコ募金は目標数を13万個に設定して11月20日にスタートしました。ウクライナ、パレスチナ・ガザ地区の報道も続くなか、イラク・シリアの小児がんと闘う子どもたちへの支援を訴えながらの募金活動となりましたが、無事に2024年2月に目標数を達成することができました。3年前から取り組みが始まったCOFFEE for

PEACE！もチョコ募金と同様、多くの皆さまから楽しんでいただけるようになりました。円安の影響で現地での活動も見直さざるを得ない状況が続きますが、多くの皆さまのお陰で活動資金を得る努力を続けられることに感謝しかありません。

2024年はJIM-NET発足20年の節目として3月14日～18日、神保町・文房堂ギャラリーで『JUSTPEACE!20』企画展を開催しました。これまでJIM-NETが関わった子どもたちの写真や絵画と、昨年10月にモスルを訪問された田村公祐さんの写真を中心に展示しました。廃墟の隣で進む復興の様子や市場（スーク）、現地で暮らす人々の笑顔や珍しい料理など、「テロ」「戦争」のイメージとは異なるイラクをご覧いただけました。

ギャラリートークでは、『イラク水滸伝』を上梓された高野秀行さん（ノンフィクション作家）と田村さんの対談、『世の中全ての人へ』に鶴田能史さん（ファッションデザイナー）、『JUSTPEACE！スペシャルトーク』にSUGIZOさん（ギタリスト）、サヘル・ローズさん（表現者）、志葉玲さん（ジャーナリスト）をそれぞれお迎えし、私たちを取り巻く状況と「平和」をキーワードに熱量の大きいお話しが広がりました。

イラク戦争から21年、JIM-NETが発足して20年を迎えますが、イラクでの小児がん支援、シリア難民支援を続けてまいります。





## JIM-NETのあゆみ

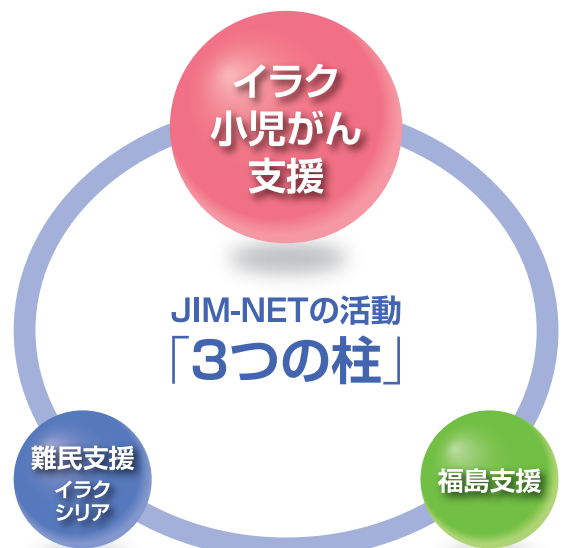
1990年代半ば、イラクの子どもたちの間で、がん・白血病の発症率が急激に増加し始めました。1991年の湾岸戦争時に、米軍が使用した劣化ウラン弾の放射能の影響だと考えられます。しかし、湾岸戦争後の経済制裁による抗がん剤や医療機器の輸入制限のため、適切な治療が受けられず、助かるはずの多くの子どもたちが命を失ってしまいました。

2003年のイラク戦争で、米軍は再び劣化ウラン弾を使用しました。イラクの病院は破壊され疲弊し、保健行政も機能不全に陥り、増え続ける小児がん・白血病の子どもたちにとって危機的な状況でした。2004年6月、来日したバスラ産科小児科病院のジャナン医師と日本の支援者たちの間で、子どもたちの窮状を救うための話し合いがもたれました。そして、より効率的で継続的な支援体制の確立をめざし、NGO、市民グループ、日本とイラクの医師たちが「日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)」を立ち上げました。以降、任意団体として7年あまり活動した後、2012年2月1日、特定非営利活動法人 (NPO 法人) となりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後には、宮城県石巻市を中心に、医療支援や仮設風呂の提供を行いました。地震と津波で福島第一原子力発電所の事故が起きた福島県にて、放射能の被害を最小限に留めるべく、除染や保養の支援を継続して行いました。また、2012年4月からは、紛争が激化したシリアから大量の難民が発生したことを受け、イラクとヨルダンにて緊急支援を開始しました。

2019年度には、イラクで初となる小児がん総合支援施設 (通称：JIM-NETハウス) がアルビルのナナカリ病院敷地内に完成し、がんの子どもたちへの教育サポート、患者家族からの相談受付、宿泊場所の提供など心理社会的サポートが本格的に開始されました。

JIM-NETは、イラクの小児がんの子どもたちが自国できちんと治療を受けられるようになり、先進国並みの生存率となるように支援を続けます。福島支援活動も継続し、放射能汚染から子どもたちの健康を守る活動を行う団体への支援を実施していきます。また、シリア難民支援とイラク国内避難民支援にも継続して取り組んでいきます。





# 小児がん支援

**概要**

2023年度はパレスチナ・イスラエル問題の影響がクルド自治区アルビル市内にも及び、米軍施設へのドローン攻撃や隣国からのミサイル攻撃が多発し、空港閉鎖や民間人の死者が出るなど不安定要素が多い年となりました。2022年度からバグダードの医師を中心としたイラクの腫瘍内科の医師たちが、患者の記録をデータベース化するためにグループを作り、イラク人の医師同士で意見交換やフォームの作成と、それらの情報交換の場として2023年度にJIM-NET会議を実施する予定でした。しかし、上記の治安状況のため延期となり、開催することができず、2024年に持ち越しとなりました。活動面では、JIM-NETハウスの移管に関してナナカリ病院との交渉を行い、ナナカリ病院内での患者急増の状況を鑑み、これまで院内学級やアクティビティを行っていた1階部分はナナカリ病院側が利用する形となりました。また、日本人スタッフが数年ぶりにバグダードに渡航し、保健省関係者、支援先病院関係者と協議を進めました。



院内学級で遊ぶ子どもたち (バスラ)



ナナカリ病院待合室で子どものケア (アルビル)

サマーコースを実施しました!  
(アルビル)



国際小児がんデーのイベントを開催 (アルビル)

## こんな活動をしました

### ■ 医薬品支援・消耗品支援

小児がん専門病院に抗がん剤を中心とした医薬品、医療品を支援しました。

バグダード	約389万円
バスラ	約285万円
アルビル	約278万円



医薬品は、株式会社カタログハウス様、生活協同組合パルシステム東京様より、多大なご支援をいただきました。

### ■ JIM-NETハウス

5年目を迎えた小児がん総合支援施設「JIM-NETハウス」では、日々、スタッフが患者家族の相談に乗ると共に、ピアサポートグループを実施し、心理社会的サポートを行いました。また、遠方から来るがん患者家族のための宿泊機能はとても重要で、多くの患者家族が利用しています。

#### 【教育支援】

常時10人の子どもたちが診察室前の待合所でのアクティビティに参加し、診療前に緊張しがちな子どもたちがリラックスすることができます。

#### 【ピアサポート】

年間5回実施し、49名の保護者に関する正しい知識、精神的なケアを提供しました。2022年度にアルビルを訪問した日本人精神科医師が継続的にフォローを行っています。



国内避難民で貧困患者の家庭を訪問 (アルビル)

#### 【課外活動】

医師の許可のもと、治療中の子どもたちや院内学級に通う子どもたちを対象に、遊園地、動物園を訪問する課外活動を実施しました。また、8月の1ヶ月間のサマーコースでは、お絵描き、音楽、読み書き、動画作成などの授業に20名の子どもたちが参加しました。サマーコースを通じて、新たなアクティ





バグダード中央小児教育病院にて打ち合わせ (バグダード)



小学校で感染症対策のレクチャー (アルビル)



医大生が子どもたちのためにイベントを企画 (アルビル)



地元の小学校で感染症対策のレクチャー (アルビル)

ビティに参加し、子どもたちは刺激を受け、創造性を高めることができました。

### 【宿泊者の受け入れ】

2023年度は、4,715人（1日平均の利用者 12.9人）のがん患者・患者家族を受け入れました。宿泊が必要な患者家族は、部屋割りを調整してすべて受け入れています。

### ■ 貧困患者支援

貧困患者に対する支援として、医薬品の購入や病院までの交通費の支援を行っています。貧困患者家族の経済状態

は悪化の一途を辿っており、各地域において、担当医師や家族の状況を丹念に聞き取りを実施しています。

アルビル	632件（地元の患者家族362件、国内避難民及びシリア難民家族270件）
バグダード	156件
バスラ	120件

貧困患者支援では、患者家族の生活状況を把握するために家庭訪問を実施しています。2024年度からはアルビルだけではなく、バグダード、バスラでも行う予定です。

## JIM-NETが関わる子どもたち

### シャーム・ムハンマド (16歳) 血液疾患

シリア出身のシャームは、2020年にシリア南部ダラアからアルビルに家族と共に逃れてきました。しかし、イラクでの滞在許可の手続きを依頼した弁護士が家族全員のパスポートと滞在許可取得の代金を持ったまま逃亡してしまいました。同時期に体調を崩しがちだったシャームは血液の病気であることが分かり、治療を開始しました。その後、回復の兆しを見せ、院内学級にも積極的に参加しながら大好きな絵をたくさん描いてくれましたが、2023年秋に体調が悪化し、現在も治療を続けています。英語の勉強をして、エンジニアになりたいという夢を持っています。家庭の経済状況がとても困窮しているため、JIM-NETでは検査費や医薬品購入費の一部を支援しています。



### ザッカリーヤ・イブラヒム・フセイン (当時11歳) 白血病

ザッカリーヤは、2017年7月、イスラム過激組織IS（イスラム国）から解放されたモスルよりアルビルに引越してきました。お父さんは電気工事の仕事をして、何とか家族の生活を繋いでいました。そんな中、2023年6月にザッカリーヤが白血病であることが分かり、治療を開始しました。家族の生活状況が厳しく医薬品や通院費が払えなくなっていたため、JIM-NETではこれらの費用をサポートしていました。順調に思われていた治療ですが、治療中に再発し、固形物を食べられなくなり、歩行が難しくなっていました。ザッカリーヤは動画を撮ることが好きで、元気な時は自分で撮影した動画を撮って動画サイトなどに投稿してましたが、病気の進行により2024年の始めにザッカリーヤは天国に旅立ちました。







アルビル市内の動物園へ遠足



ボランティアスタッフが日々子どもたちをケアしています



ナナカリ病院への医薬品支援



シリア難民 貧困患者支援



国際小児がんデーのイベントを 医大生グループが企画



診察までの待ち時間にスタッフが子どもたちをケア



イベントには患者やその姉妹も参加して楽しいひと時を過ごします

アルビル

# 2023年度の活動の様子



スタッフと患者の子ども

バグダード



バスラ



子どもたちは院内学級の先生たちが大好き



# 難民支援

## 概要

イラク国内の治安や情勢は落ち着きつつあるものの、イラク国内の難民（国内避難民・シリア難民）やシリア国内のシリア難民を取り巻く状況は依然として厳しい状況にあります。イラクの国内避難民への支援では、妊産婦・家族計画支援、シリア国内への支援では医薬品の支援を実施しました。過激派組織イスラム国（IS）の破壊によって家を失った国内避難民は、未だに帰還の目途が立たず、難民キャンプでの生活を強いられています。ウクライナへの支援や支援の長期化による予算の減少も続いており、シリア難民が暮らすドミーズ難民キャンプでは、医師や医療従事者が大幅に削減され、妊産婦はドホーク市内に移動して出産しなければならないなど、妊産婦に対する保健・医療サービスが著しく低下しています。シリア北東部では、都市によって治安状況は異なりますが、トルコ軍による石油・ガス田、発電所、給水センターを含む地域への定期的な攻撃で、数百人の死者が出ました。2023年2月に発生した大地震の復興も進まない中、物価高騰、水、ディーゼル不足は地域住民の生活をより苦しめています。



シリア・サリカニ難民キャンプ

シリア・ワシヨカニ難民キャンプ内で遊ぶ子どもたち



## 活動内容

### ■ 国内避難民・シリア難民キャンプ（イラク国内）

ダラシャクラン・シリア難民キャンプで乳糖不耐症の乳幼児のための特殊ミルク3,600ドル分を、154人の乳幼児に支援しました。また、妊産婦やキャンプの貧困層に属する女性たちを集めた手工芸ワークショップを行い、26名が参加しました。刺繍等の作品は、日本で試験的に販売しました。

また、ニナワ県に位置するシリアからの帰還民が收容されるジャダア難民キャンプ、ドホーク県に位置するシリア難民が暮らすガウィラン難民キャンプ及びドミーズキャンプに医薬品と家族計画物資10,000ドル分を、3,110人に支援しました。

### ■ シリア国内支援（地震被災者支援も含む）

日本国際ボランティアセンター（JVC）、日本チェルノブイリ連帯基金（JCF）とともにクルド赤新月社（KRC）を通して34,000ドル（1回目：15,000ドル、2回目：19,000ドル）を支援しました。1回目は被害の大きかったシリアのアレッポ北部シャハバ地域に住む人々へ、風邪薬や喘息の薬などの医薬品及びベッドマットや枕などの生活必需品を支援し、2回目はシャハバ地域にある病院（シャハバ病院）やサルダム難民キャンプ、バルハダーン難民キャンプで不足している解熱剤や抗生物質、心疾患、糖尿病の薬など支援しました。

また、通常事業としてシリア・ハサカ県に位置するワシヨカニ・シリア国内避難民キャンプ、サリカニ・シリア国内避難民キャンプ、地震の被害が大きかったシャハバ地区に15,000ドル分の医薬品を支援しました。

### ■ 緊急医療支援

アンバール県保健局からの要請で、ルトウバ病院に手術機器1,050ドル分を支援しました。



地震の被害にアレッポ北部シャハバ地域



イラク・ドミーズ難民キャンプで医師から聞き取り



地震の被害にあったシャハバ病院では、懸命な治療が続けられている



# 福島支援

福島の子どものための保養活動や放射能測定などを行う団体に対して、公募・推薦によって選拔し、支援を実施しました。(2023年度募集期間：2023年7月1日～12月31日)  
2023年度は、以下5団体に支援しました。(五十音順、法人格名を除く)



## 2023年度 福島基金支援先団体一覧

団体名	事業概要	助成額
青空保育たけの子	野外保養活動のための福島から山形への往復無料送迎	¥300,000
心援隊	大阪での保養活動	¥200,000
子どもと原子力災害 保養資料室 《ほよよん》を育てる会	原子力災害関連の資料室開設	¥300,000
NO to YES	北海道での保養活動	¥300,000
みんなのデータサイト	食品・環境の放射能測定	¥300,000
	合計	¥1,400,000

## 【2023年度の支援先『NO to YES』が行った冬期保養活動に関する報告から】

冬休み保養が4年ぶりに再開され、無事に終了することができました。

2023年夏休み保養を無事終了しホッと、冬休みの開催は考えていませんでした。

しかし、終わった途端、福島の子どもたちから「冬もやってほしい!」という声がたくさん届きました。とはいえ、保養を開催することは、年々難しくなっています。灯油やガソリンなどの燃料費、食料品などの高騰、4年前とはずいぶん経費も変わっています。コロナ禍で、子どもたちが楽しみにしていた行事や旅行、経験したかったいろんなことが中止になり、相手の表情も見えない中、静かに過ごしてきた子どもたちが、大声で笑い、美味しく食べたり、元気いっぱい遊んだり、それがどれほど、子どもたちの心に喜びを与えるだろう。

彼らの一言に、彼らが我慢してきた分を、少しでもいいから取り戻さなくちゃ、と思いました。

開催するためには、資金の問題をクリアにする

ことが先決でした。冬休みが始まってすぐから年末頃までの1週間に期間を短くし、経費を削減しました。たった1週間くらいだけいいの?と訊くと、子どもたちは「短くてもいい!」「行けたらいい!」とのことでした。結果、やっぱり開催できて本当によかったと思います。

子どもたちは、毎日とても喜んでいて、元気で、楽しく過ごしていました。たった1週間だけでしたが、願いが叶ったことや、のびのびと過ごすことができたことは、彼らの素晴らしい思い出になったことと思います。



楽しみにしていた冬の保養(北海道)



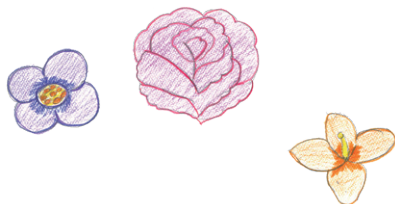


# 広報・イベント

【刊行物】・JIM-NET 便り年間4回発行  
・アニュアルレポート1回発行

## 【主な開催イベント】

- ◆2023年・6月17日/「イラク訪問報告会」登壇：サヘル・ローズ（表現者）  
・8月23日/子どもアートフェス@練馬ココネリ
- ◆2024年・1月12日ナイトピースカフェ@パルシステム東京  
・3月14日～18日『JUSTPEACE！JIM-NET 発足20年企画展』  
・3月16日トークイベント『世の中全ての人へ』  
出演：鶴田能史（tenbo 代表・ファッションデザイナー）  
・3月17日トークイベント『イラク探訪』  
出演：高野秀行（ノンフィクション作家）、田村祐祐（株式会社エインシャントワールド）  
・3月19日オンライントークイベント『JUSTPEACE！スペシャルトーク』  
出演：SUGIZO（作曲家、ギタリスト）、サヘル・ローズ（表現者）、志葉玲（ジャーナリスト）



## チョコ募金

チョコ募金は、冬季限定の募金キャンペーンで1口550円ご寄付くださった方に、チョコレートをお礼としてプレゼントしています。毎年みなさまからの温かいご支援をいただき、2023年度で19回目のチョコ募金の取り組みとなりました。

「可愛い絵と六花亭さんの美味しいチョコを、毎年楽しみにしています！」「どうか子どもたちが笑顔で過ごせますように」など、たくさんの応援メッセージを頂戴しています。闘病中の子どもたちの絵を通して、平和への思いをお届けしています。

2023年度も全国の皆さまからお申込みをいただき、お陰様で13万個すべて終了することができました。ご支

援をくださった皆様に心から感謝申し上げます。

- ①テーマ：『CHOCOLATE for PEACE!』
- ②取組個数：六花亭様のご協力により、13万個
- ③実施期間：2023年11月20日～2024年2月5日まで

### ◆チョコ募金運営協力（敬称略）

六花亭商事株式会社/古茂田工業株式会社/株式会社江連金属印刷所/有限会社佐賀製作所/有限会社山猫印刷所/社会福祉法人 川崎市社会事業団 KFJ 多摩はなみずき/日本国際学園大学・講師 野田美波子/菊地翔真/SEO株式会社/MAYUMI/S-GUMIZAWA



## 収益事業

### COFFEE for PEACE !

2023年度で3回目の取り組みとなった「COFFEE for PEACE !」（ドリップコーヒー）もお陰様で大変ご好評をいただきました。

株式会社キャメル珈琲のご協力で、子どもたちの絵がパッケージに印刷され、たくさんの方々からJIM-NETが支援する子どもたちの絵に触れていただける貴重な機会となりました。

1セット（2個入り）：550円（税込み）

うち約200円がJIM-NETの活動資金となります。

取組個装：2万個（絵柄：2種類）  
実施期間：2023年9月19日～  
2024年6月11日



### ◆COFFEE for PEACE ! 運営協力（敬称略）

株式会社キャメル珈琲/古茂田工業株式会社/社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会新宿区立高田馬場福祉作業所/日本国際学園大学・講師 野田美波子/菊地翔真/SEO株式会社/MAYUMI/S-GUMIZAWA



## 海外事業

### アルビル県を中心とした包括的小児がん患者支援

事業地：イラク・クルド自治区アルビル

対象者：約5,000人 (JIM-NETハウス滞在の患者家族含む)

活動内容：JIM-NETハウス移管、心理社会的サポート、医薬品支援、貧困患者支援

### シリア難民・イラク国内避難民に対する緊急医療支援

事業地：イラク・シリア

対象者：約4,000人

活動内容：医薬品支援、家族計画支援

### バグダード小児がん支援

事業地：イラク・バグダード

対象者：約1,000人

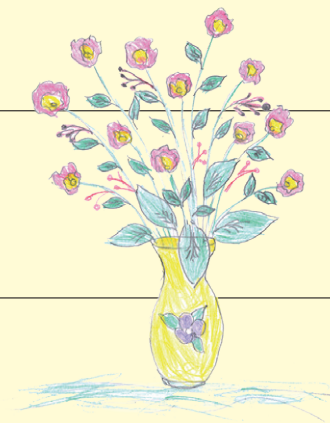
活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級運営

### バスラ小児がん支援

事業地：イラク・バスラ

対象者：約2,000人

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級運営



## 国内事業

### 福島事業 (福島基金)

1. 福島の子どもを対象にした保養活動や放射能測定活動を行っている団体の活動に対して支援を行う。
2. 2024年7月1日から公募を開始する。

### チョコ募金

1. テーマ：CHOCOLATE for PEACE !
2. デザイン：イラクと日本をオンラインで繋ぎ、お絵描きワークショップで、子どもたちが描いた絵をチョコ缶のデザインとする。
3. 取組個数：13万個
4. 受付スタート：2024年11月中旬から受付スタート予定。

### サポーター・ ファンレイジング

1. JIM-NET発足20年に合わせ、『JIM-NET20! 応援募金』として1年間募金呼びかけを行う。

### 収益事業

1. ドリップコーヒー・COFFEE for PEACE ! 第4弾  
9月中旬より新デザイン(1万セット)を販売スタート予定。
2. その他グッズ  
イベントなどで随時販売予定。

### 広報・イベント

1. 広報  
HPの内容の更新(写真の更新、JIM-NETヒストリーなど)
2. イベント  
報告会など各種チャリティイベントの実施。





# 2023年度決算

## 活動計算書 2023年4月1日~2024年3月31日

I. 経常収益		(単位:円)
科目	決算額	
受取会費	正会員受取会費	50,000
	サポーター受取会費	2,134,000
	ラナサポーター受取会費	3,650,000
	<b>合計</b>	<b>5,834,000</b>
受取寄付金	受取寄付金	86,919,586
	チョコ募金	74,997,084
	<b>合計</b>	<b>161,916,670</b>
受取助成金		894,719
<b>合計</b>	<b>894,719</b>	
事業収益	自主事業収益	6,395,795
	受託事業収益(受取講演料)	44,550
	<b>合計</b>	<b>6,440,345</b>
その他収益	受取利息	386
	雑収益	1,069,129
	受取講演料等	45,160
	<b>合計</b>	<b>1,114,675</b>
<b>経常収益計</b>	<b>176,200,409</b>	

## II. 経常費用 / III. 経常外収益 / IV. 経常外費用 (単位:円)

科目	決算額		
人件費(給与手当、通勤費他)	34,182,478		
事業費	その他 経費	売上原価	1,726,572
		旅費交通費	11,159,803
		その他費用(家賃、水道光熱費他)	15,112,640
		プロジェクト物資費	35,693,803
		ワークショップ等開催費	678,025
		寄付金原価	26,679,055
		印刷広告宣伝費(事業)	4,684,713
<b>事業費計</b>	<b>129,917,089</b>		
管理費	人件費(給与手当、通勤費他)	13,188,697	
	その他経費(事務所家賃他)	5,567,949	
<b>管理費計</b>	<b>18,756,646</b>		
<b>経常費用計</b>	<b>148,673,735</b>		
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>		
<b>経常外費用計</b>	<b>70,000</b>		
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>27,456,674</b>		
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>161,399,161</b>		
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>188,855,835</b>		

## 貸借対照表 2024年3月31日現在

資産の部		(単位:円)	負債の部		(単位:円)
科目	金額		科目	金額	
<b>【流動資産】</b>			<b>【流動負債】</b>		
現金・預金	182,638,861		未払金	3,899,500	
未収金	0		未払費用	1,657,202	
棚卸資産	651,393		預り金	506,403	
(その他流動資産)			仮受金	64,950	
前払費用	0		<b>負債合計</b>	<b>6,128,055</b>	
仮払金	0		<b>【正味財産】</b>		
緊急時対応準備金	11,000,000		前期繰越正味財産額	161,399,161	
<b>流動資産合計</b>	<b>194,290,254</b>		当期正味財産増減額	27,456,674	
<b>【固定資産】</b>			<b>正味財産合計</b>	<b>188,855,835</b>	
什器備品	68,676				
敷金	624,960				
<b>固定資産合計</b>	<b>693,636</b>				
<b>資産合計</b>	<b>194,983,890</b>		<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>194,983,890</b>	

## 監査報告書

監査報告書	
INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT	
<p>特定非営利活動法人 JIM-NET の 2023 年度決算 (2023 年 4 月 1 日 - 2024 年 3 月 31 日) について、監査の結果、事業は適正に実施され、また活動計算書および貸借対照表は、一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて作成されていることを認める。</p>	
<p>I have audited the financial statement of NPO JIM-NET as of March 2024 and acknowledged that revenue and expenditures for the Fiscal Year 2023 in the activity statement and balance sheet were based on generally accepted accounting principles.</p>	
日付:	2024年5月30日
監事:	今井高樹

# 2024年度予算

## 活動予算書 2024年4月1日~2025年3月31日

I. 経常収益		(単位:円)
科目	決算額	
受取会費	正会員受取会費	70,000
	ラナサポーター受取会費	5,500,000
	<b>合計</b>	<b>5,570,000</b>
受取寄付金	受取寄付金	19,570,000
	チョコ募金	75,300,000
	<b>合計</b>	<b>94,870,000</b>
受取助成金		2,300,000
<b>合計</b>	<b>2,300,000</b>	
事業収益	自主事業収益	6,800,000
	<b>合計</b>	<b>6,800,000</b>
その他収益		50,000
<b>合計</b>	<b>50,000</b>	
<b>経常収益計</b>	<b>109,590,000</b>	

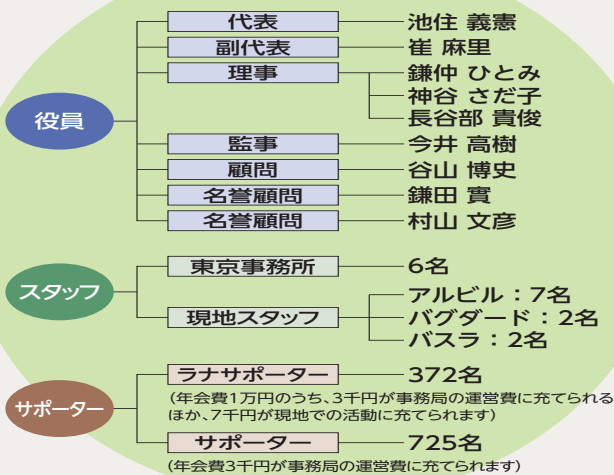
## II. 経常費用 / III. 経常外収益 / IV. 経常外費用 (単位:円)

科目	予算額		
人件費(給与手当、通勤費他)	39,667,000		
事業費	その他 経費	旅費交通費	10,398,000
		その他費用(家賃、水道光熱費他)	12,642,000
		プロジェクト物資費	29,335,000
		ワークショップ等開催費	2,515,000
		業務委託費	1,160,000
		寄付金原価	23,800,000
		印刷広告宣伝費(事業)	5,929,000
<b>事業費計</b>	<b>125,446,000</b>		
管理費	人件費(給与手当、通勤費他)	13,800,000	
	その他経費(事務所家賃他)	6,410,000	
<b>管理費計</b>	<b>20,210,000</b>		
<b>経常費用計</b>	<b>145,656,000</b>		
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 36,066,000</b>		

## JIM-NET参加団体紹介

アラブの子どもとなかよくする会／株式会社カタログハウス  
／一般社団法人 子どもの平和と生存のための童話館基金  
／「サダコ」・虹基金／医療法人社団スマイル スマイルこどもクリニック／認定NPO法人 日本国際ボランティアセンター (JVC)／認定NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)

### 組織体制 (2024年3月現在)



## ご寄付

大口のご寄付をいただいた企業・団体を掲載しております。ご支援を賜りましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

### ◆チョコ募金 (9,795件)

株式会社アルソア慧央グループ／ビア&カフェ BERG／SOMPOケア株式会社／自然派くらぶ生活協同組合／大王製紙株式会社／札幌イラクチョコ募金の会／株式会社ミズ／学びい舎英語塾／一般社団法人文民教育協会子どもの文化研究所／ゴスペル・スパークル／旭松食品株式会社／静岡西部健康友の会／認定NPO法人 WE21ジャパンこうほく／認定NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金

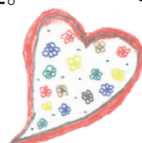
### ◆ご寄付 (3,160件)

株式会社カタログハウス／生活協同組合パルシステム東京 (平和カンパ)／サダーカ・イニシアチブ／新制作協会彫刻部／全国友の会／金沢オーガニッククラブ／エリコ通信社／有限会社 SATOWA MUSIC／日本基督教団 信濃町教会



JIM-NETは大変小さな団体です。コミュニケーションを大切にしながら日々の活動を進め、かつ、団体の存在と活動内容を知っていただけるように努力しています。小児がんの闘病中にイラクの子どもたちが描く絵の数々は、どれも力強くエネルギーに溢れており、遠く離れた日本に暮らす私たちの方が勇気づけられることに気がきました。2006年からは、子どもたちの絵を活用した「チョコ募金」をスタートさせました。北海道・六花亭様の多大な協力を得て、手探りで始めた冬季限定のチョコ募金は、いつの間にか10万個以上のチョコレート缶を全国の皆さまのお手元に届けられるようになりました。

先行きが見えない状況下にあったコロナ禍では、ご縁を頂戴したカルディコーヒーファーム様からのお申し出でドリップコーヒー「COFFEE for PEACE！」に取り組む運びとなりました。甘いチョコレートだけ



ではなく、「毎日楽しむ珈琲で支援したい」「プチギフトに使いたい」と3年目を迎えたCOFFEE for PEACE！も順調に親しまれています。チョコ缶もドリップコーヒーもイラクとシリアの子どもたちの絵が活かされ、現地の子どものたちとその家族の大きな励みとなっています。

日本国内も不景気が続くなか、20年以上前のイラク戦争をきっかけに発足した私どもの活動を継続することは容易ではありません。それでも、長い年月をかけて重ねてきた経験とつながりを大切に、現地が必要とされる支援に取り組んでいけるよう、努力いたします。引き続き今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



鎌田 實  
JIM-NET名誉顧問



## 2023年度年次報告書

2024年7月30日発行

特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-11 内藤ビル2C

電話: 03-6228-0746 E-mail: info-jim@jim-net.net

寄付金振込先: ゆうちょ銀行振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット

他行からのお振込の場合:

預金種目 当座 店名 ○五九店 (○は漢数字のゼロ) 口座番号 0094945

<http://jim-net.org/>

